

講義名	対)研究演習		
講義コード	45403	授業形態	開講期・曜日・時限
担当教員	藤原 喜美子	備考	通年 木曜日 5時限

学部・学科	演習分野
マーケティング学科・経営学科 経済学科・経済情報学科	藤原喜美子ゼミナール（日本文化論）

概要説明

この研究演習の目的は、日本の民俗（生活文化）から日本の文化の本質ともいべきもの考えることにあります。

私たちの日常生活は、地域ごとに特色が見られます。住居・衣服・食事・生業・村構成・人生儀礼・年中行事・神祭・伝説・民間信仰などがテーマになります。このような日本の民俗（生活文化）は、文字に記されている資料以外に、文字に記されていない民俗資料からも明らかにすることができます。例えば、日常生活における体験談、家や地域に伝わる言い伝えや習俗（伝承）などが、この学問の大事な情報源になります。そのため、各地域の特色を知るために、フィールドワーク（聞き取り調査）による資料収集が必要となります。

そこで、この研究演習 では、日本の日常生活の中で伝承されてきた各地域の情報（民俗）を収集・整理する方法を学びます。そして、得られた地域の特色を考察し、日本の文化の中に位置付けます。地域の情報（民俗）は多種多様であるため、それらの資料をいかに整理していくかが重要です。そのため、口頭発表と質疑応答を通して、日本の民俗（生活文化）への理解を深め、その特色を検討する方法を、ゼミの皆さんとともに学んでいきたいと思ひます。

研究演習 では、前期は『読み上手書き上手』、後期は松尾芭蕉『奥の細道』をテキストとして利用し、個別の発表や質疑応答を行います。また、前期と後期を通して、新聞記事を活用しながら、自らの考えをまとめる練習を行います。

研究演習 は、教室において対面授業で実施させていただきます。

主な卒業論文のタイトル

- 〔2021年度卒業論文〕
 - ・日本古来の神事芸能 神楽 日本を旅する獅子舞・伊勢大神楽
 - ・自動車・鉄道の歴史から紐解く我が国が未来で歩む交通の光景とは
 - ・日本と温泉の歴史について
 - ・姫路城と長壁
 - ・陰陽師・安倍晴明
 - ・狼の信仰と物語について
- 〔2020年度卒業論文〕
 - ・兵庫県上の伝統的和紙の需要と未来
 - ・環境保全と開発
 - ・阿万地区 春のたんじり祭り たんじり唄の歴史
 - ・姫路の観光と歴史の魅力
- 〔2019年度卒業論文〕
 - ・鉄道が与える地域の資源
 - ・香川県の食文化
 - ・和太鼓の楽舞と自身の活動
 - ・中国の東北地域における子供の習俗と生活
 - ・中国の春節に行われた年中行事

教員よりの要望

- ・積極的な姿勢で取り組むこと。現地見学（フィールドワーク）などを行うことがありますので、その時には必ず参加してください。
- ・日常生活（民俗）に対して、大いに興味を持ってくださることを期待します。日常生活には、日本の文化を語る多くの資料が満ちあふれています。身近な事柄に対して、何事にも強い関心や疑問を持ってください。

選考方法

研究演習（日本文化論）を履修した学生に、引き続き、研究演習（日本文化論）を履修していただくことができます。

評価方法

- ・出席を重視します。原則として毎時間、出席調査を実施します。欠席や遅刻状況も評価の中に含まれます。
- ・レポートや研究発表の内容は当然ですが、研究演習に取り組む姿勢、発表者に対する質問（討論への参加度）など勘案して、評価を行います。

教員英字氏名	研究室
Fujiwara Kimiko	研究棟 2711

最終学歴

神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻 博士後期課程単位取得満期退学

学位

修士（日本史学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

- 〔社会活動〕大阪狭山市文化財保護審議会委員(民俗)、加古川市文化財保護審議会委員（民俗）、播磨町文化財審議委員(民俗)
- 〔研究業績〕
 - 著書『オニを迎え祭る人びと 民俗芸能とムラ』（御影史学研究会民俗学叢書17、岩田書院、2006年10月刊）
 - 論文「五條市近内町の高野参りと六高念仏」（『考古学論叢』第30冊、奈良県立播磨考古学研究所、2007年3月刊）
 - 論文「八正寺と鬼会式「鬼のお面箱取り」をめぐって」（『久里』20号、神戸女子民俗学会、2007年4月刊）
 - 論文「蓮花寺の「山の神の鬼面」のもつ意味」（『山岳修験』第43号、日本山岳修験学会、2009年3月刊）
 - 論文「竹崎島の修正会鬼祭 満潮に二匹の鬼が呼びあうこと」（『御影史学論集』第34号、御影史学研究会、2009年10月刊）
 - 論文「愛知県国府宮の夜御追神事」（『流通科学大学教養センター紀要』第1号、流通科学大学教養センター、2011年5月刊）
 - 論文「兵庫県加東市の朝光寺の鬼語り 修正会の祈りから八十八夜の祭りへ」（『久里』29・30合併号、神戸女子民俗学会、2012年6月刊）
 - 論文「修正会と鬼 播磨の八葉寺の修正会と中右記」（『兵範記』をめぐって）（鶴崎裕雄編『地域文化の歴史を往く 古代・中世から近世へ』和泉書院、2102年6月刊）
 - 論文「兵庫県加西市住吉神社に伝わる踏合せの神事」（『久里』32号、神戸女子民俗学会、2013年6月刊）
 - 論文「播磨の鶴林寺の修正会と鬼追い 謡曲「吉道」との関わり」（『御影史学論集』38号、御影史学研究会、2013年10月刊）
 - 論文「香椎宮の鶏石神社と神功皇后と湊」（『久里』33号、神戸女子民俗学会、2014年1月刊）
 - 論文「相撲節会の占手と童相撲」（『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊）
 - 論文「神社の祭りにおける相撲と子ども 神の相撲に関わる子どもの存在」（『日本文化論と民俗学』創刊号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2017年8月刊）
 - 論文「相撲節会の占手と童相撲」（『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊）
 - 論文「香川県の田井の子供神相撲と神相撲に連はれる子ども」（『日本文化論と民俗学』2号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2019年3月刊）

趣味・特技

各地へ出かけたい、歴史や文化に関わる色々なものを探し、新たな発見をすることが楽しみです。

所属

人間社会学部観光学科

所属学会

御影史学研究会、神戸女子民俗学会、日本民俗学会、歴史研究会、まつり同好会、文化人類学会

専門分野

日本民俗学

担当科目

日本文化論、地誌学、日本史A、日本史B、神戸の景観と歴史、教養特講（地理・歴史へのいざない）、教養特講（読書力）、教養総合(世界の中の日本)、基礎知識（歴史）、日本事情C、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

- 研究演習の選択は、自分の進む道（生き方）を大きく変えます。
- 私自身は大学生の時、「日本民俗学（生活文化史）」に偶然、出会いました。民俗学では、普段私たちが「当たり前」だと思っている日常生活すべてが、研究対象になりました。そのことに大変驚き、親しみを覚え、私は民俗学のゼミを選択しました。
- ゼミの時間、「自分の好きなテーマを見つけることができれば、一生楽しめる」と恩師はおっしゃいました。そして、ゼミを通して、研究の楽しさや喜びを次々と教えていただきました。こうした中で、私の選んだテーマが「兵庫県上の鬼の祭り」です。これは自分の住む地域に継承されてきた寺院の行事でした。研究テーマは、私のすぐ足もとに眠っていたのです。
- 人生はまさに「出会い」です。研究演習では、学生の皆さんも「一生楽しめるテーマ」を見つけられるよう、私はお手伝いをします。皆さんは努力をして

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。地域の民俗（生活文化）に関わる現地調査等の機会をいただいています。そこで学んだ現地調査等の経験をもとに、研究演習の取り組み（調査報告書や卒業論文の作成）の中で、現地調査の説明内容として活用させていただいています。